

教 科	数 学	科 目	数 学 II	学 年	第 1 学 年	系列 コース	共 通
単位数	1 単 位	教科書	高等学校 数学 II (数研出版)				
副教材	問題集『4プロセス 数学 II + B』数研出版 『4プロセス数学 II 完成ノート』数研出版						

1. 学習の到達目標

(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 評価の観点

①知識・技能	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

3. 学習の計画

学期	月	週No.	学習項目(単元)	学習内容
1 学 期	4月	1		
		2		
		3		
		4		
	5月	5		
		6		
		7		
		8		
		9		
	6月	10		
		11		
		12		
		13		
	7月	14		
		15		
		16		
2 学 期	8月	17		
		18		
	9月	19		
		20		
		21		
		22		
	10月	23		
		24		
		25		
		26		
		27		
	11月	28		
		29		
		30		
		31		
	12月	32		
33				
34				
3 学 期	1月	35	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式と不等式の証明	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。
		36		
		37		
		38		
	2月	39	第2章 複素数と方程式	方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して高次方程式を解くことができるようにする。
		40		
		41		
		42		
	3月	43	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	座標や式を用いて、直線や円性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。
		44		
		45		
		45		

4. 評価の方法

総合的に定期考査の得点に加えて、課題学習、授業態度、小テスト等日々の学習活動について、各評価の観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）ごとに評価する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。